

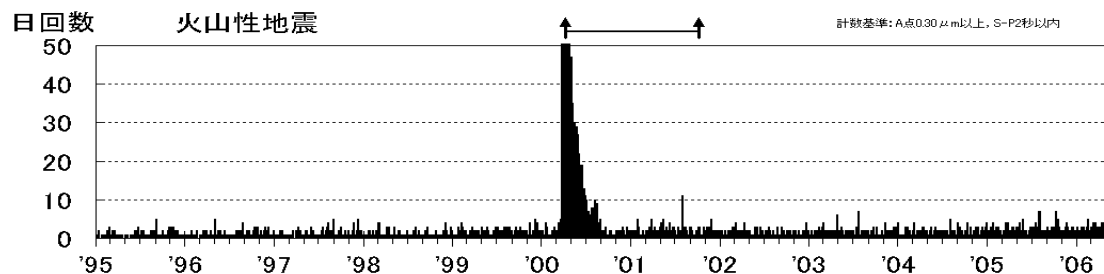
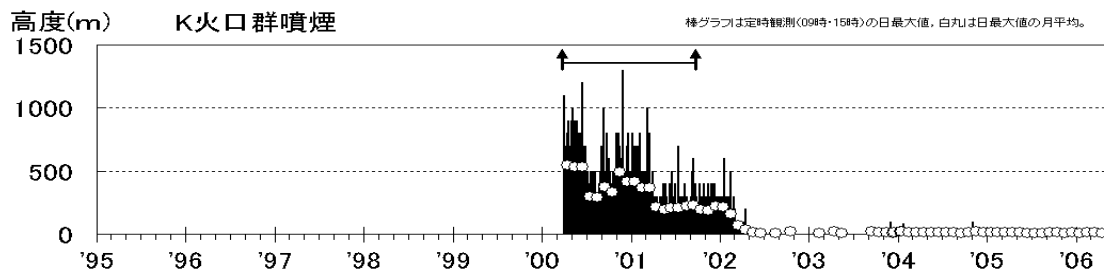
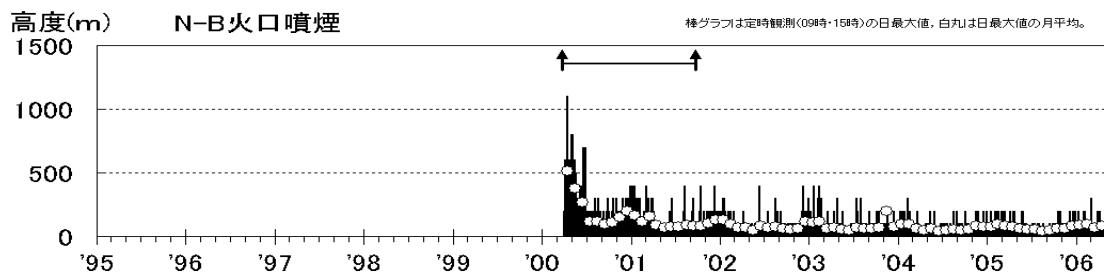
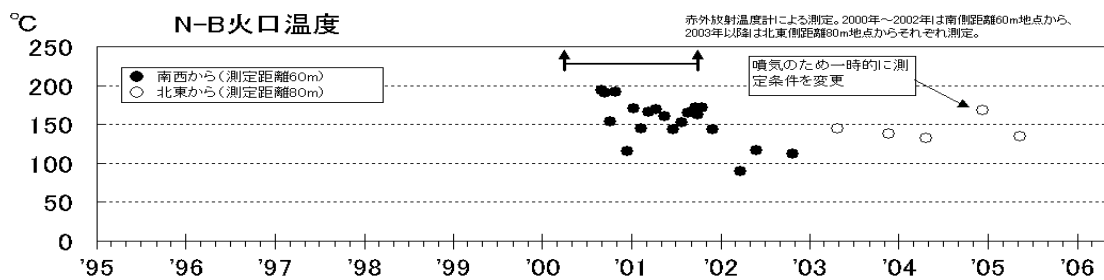
有珠山

1 概況

火山活動は静穏な状態です。

2 噴煙の状況

西山西麓（N）火口群のN-B火口では、弱い噴気活動が続いており、噴気の高さは火口縁上おおむね 100m以下で推移しました。金比羅山（K）火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。その他、山頂火口原や昭和新山でも弱い噴気活動が続いていますが、これまでと比べて特段の変化は認められません。



最近の火山活動経過図（1995年1月1日～2006年4月30日）

↑印で挟まれた期間は2000年噴火活動期

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平17総使、第503号)

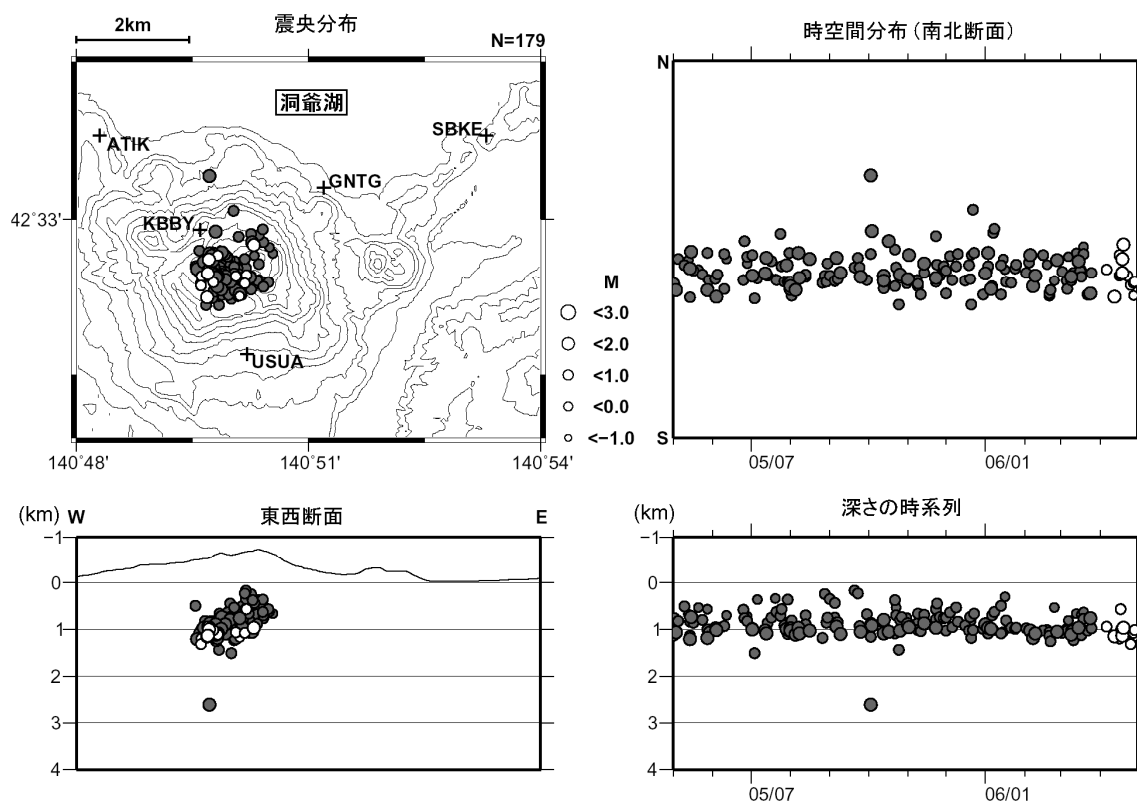
3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0~4 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様に山頂部直下の海面下 1km 前後に集中していました。

火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数 (A 点)

2005~2006 年	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
地震回数	36	18	44	37	29	35	29	33	26	34	40	35
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



有珠山の震源分布図 (丸印：震源 +印：地震観測点)

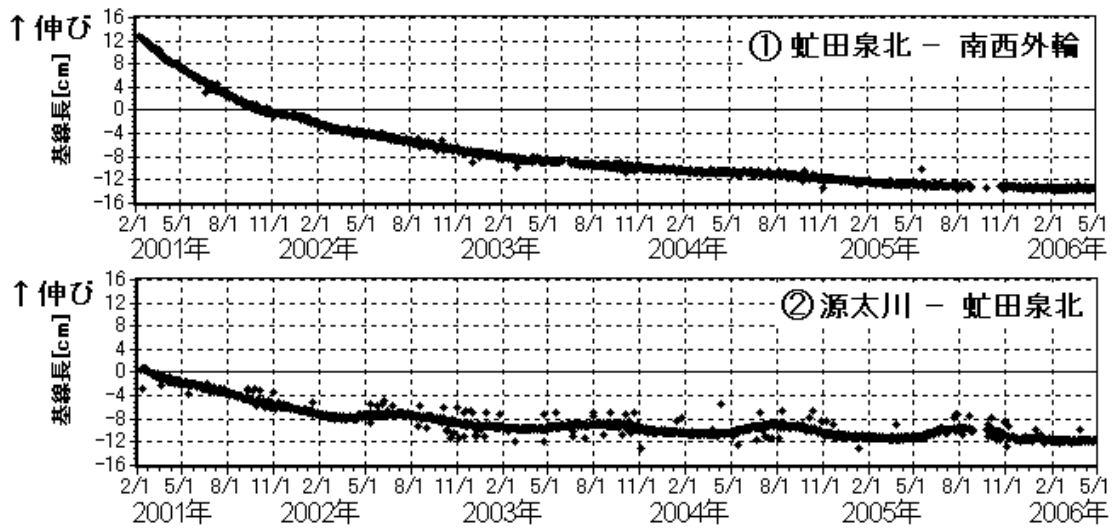
○印は今期間(2006 年 4 月)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間(2005 年 5 月~2006 年 3 月)に求まった震源を示しています。

震源は山頂部直下の海面下 1km 前後に集中しており、今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

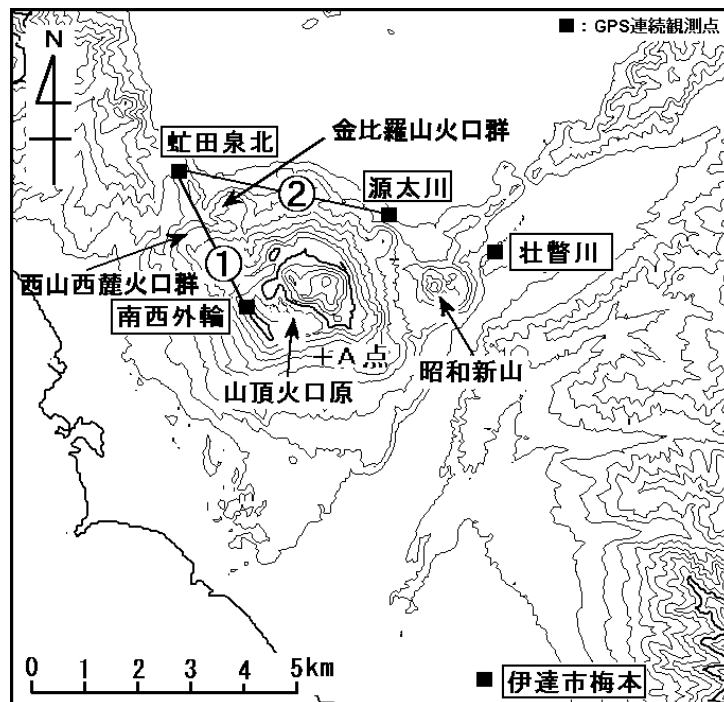
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められません。



基線長変化 (2001 年 2 月 9 日～2006 年 4 月 30 日)

基線長変化グラフの空白部分は欠測



GPS 観測点配置図